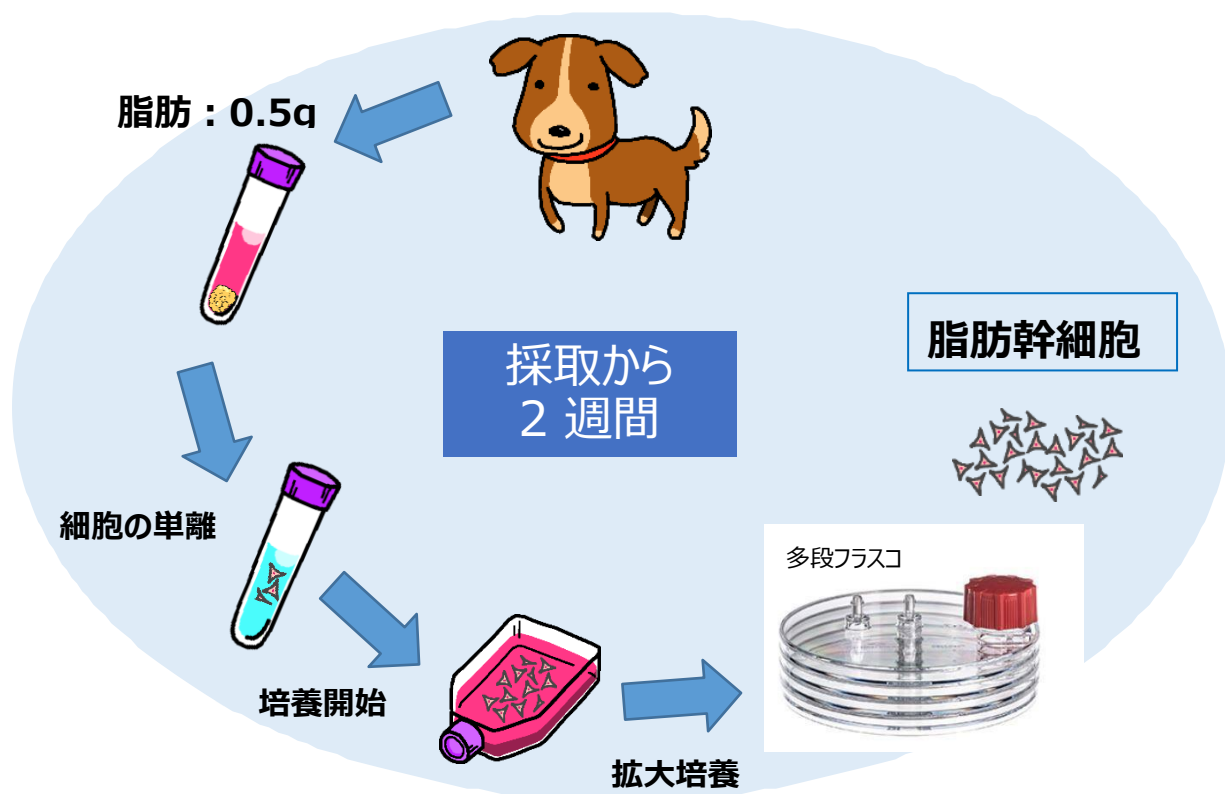




イヌ脂肪幹細胞(ADSC)培養用キット

脂肪幹細胞 (ADSC) 拡大培養用キットは、脂肪 0.5 g から分離した付着性細胞から簡便に ADSC を培養するキットです。



特長

簡易クリーンルームで可能

- ・ 特別な設備や厳格な環境が不要

オールインワン

- ・ キットのみで培養のすべてが可能

ディスポーザブル

- ・ 再使用による汚染がない



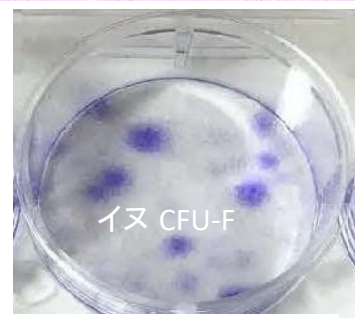
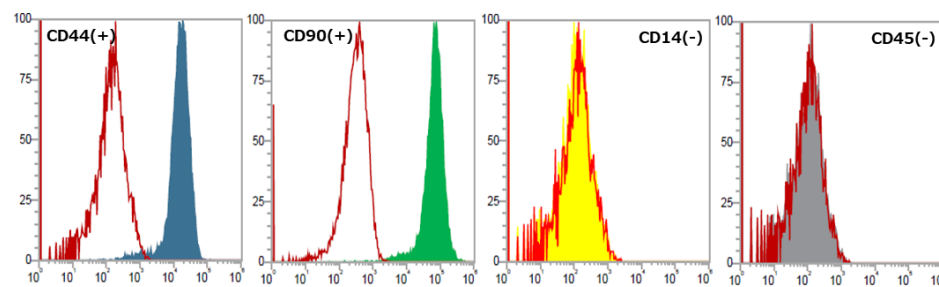
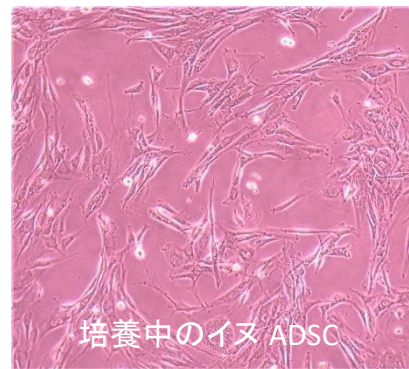
構成内容

フラスコ、培地、ピペット類まで培養に必要なすべてをセットにしたオールインワン培養キットです。

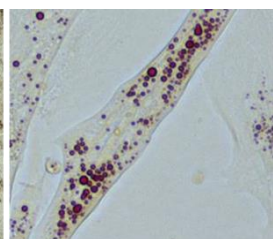
アプリケーション例

培養した細胞は、ADSC の形態の特徴を示し、CFU-F アッセイでコロニーの形成が確認されました。フローサイトメトリー解析で発現している表面マーカーの確認を行いました。また、分化能毎の染色法で3分化能（骨形成、軟骨形成、脂肪生成）が確認されています。

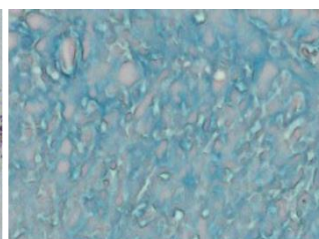
健康犬から脂肪0.5g 採取し、2週間培養を行いました。
回収細胞数は平均 2×10^7 個
生存率は 98%以上



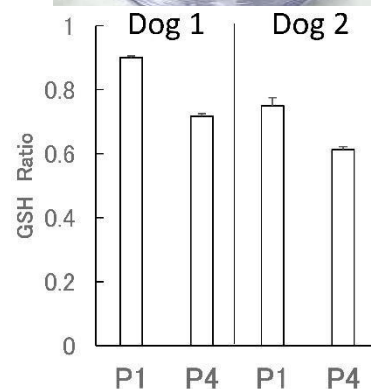
骨分化したADSCを
von Kossa染色



脂肪分化したADSCを
Oil red O染色



軟骨分化したADSCを
Alcian blue染色



ADSC の品質

抗酸化剤および酸化還元レギュレータとして機能する最も豊富な非タンパク質性のチオールであるグルタチオン（GSH）の定量による品質の評価を行いました。P1の方がP4に比べてGSHが高値を示し、少ない継代数のADSCの方が品質的に高いことが示されています。

文献、発表

- 1) 遠矢翔太、三谷康介、伊藤有紀、稲葉俊夫、岡田邦彦（株式会社 J-ARM）、イヌのがん免疫療法および脂肪幹細胞療法における飼主による QOL 評価、第 160 回日本獣医学会学術集会 2017
- 2) 伊藤有紀（株式会社 J-ARM）、細胞培養について（活性化リンパ球・樹状細胞の培養技術）、第 160 回日本獣医学会学術集会 2017
- 3) K. Mitani¹, Y. Ito¹, Y. Takene¹, E. M. Jeong², H.S. Kang², I.G. Kim³, T. Inaba^{1,4}, S. Hatoya⁴, K. Sugiura⁴ (¹ J-ARM, ² Cell2in, Korea, ³ Seoul National University, Korea, ⁴ Osaka Prefecture University), TISSUE ENGINEERING & REGENERATIVE MEDICINE Exposition 2018
- 4) 三谷康介¹、伊藤有紀¹、竹根幸生¹、J. Shin²、E. M. Jeong³、H.S. Kang²、I.G. Kim³、稲葉俊夫^{1,4}、鳩谷晋吾⁴、杉浦喜久弥⁴ (¹ 株式会社 J-ARM, ² Cell2in(韓国)、³ ソウル国立大学 (韓国)、⁴ 大阪府立大学)、イヌおよびネコ間葉系幹細胞の分離とグルタチオン量のモニタリングによる品質評価、日本獣医再生医療学会 第 14 回年次大会 2019

株式会社 J-ARM 本社

大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 5-9-27 ラ・ルーチェ阿倍野 2F

TEL&FAX : 06-7890-5959